

「新図書館整備基本構想（素案）」を策定しました 市民のみなさまの御意見を募集します

横浜市では、時代・ニーズの変化と、狭あい化等市立図書館が抱える課題を抜本的に解決するため、新図書館の整備を検討しています。

このたび、新図書館のコンセプト、機能、規模、立地場所等の基本的事項をまとめた、「整備基本構想（素案）」を策定しましたので、広く市民のみなさまの御意見を募集します。

「新図書館整備基本構想」（素案）の概要

新図書館は、これまでの図書館が備えていた基本的機能を強化するとともに、メディアの多様化や、交流や連携の機会といった時代のニーズを踏まえた取組を進めることで、「新たな価値を生み出すまちの拠点」となることを目指します。

<整備の方針>

【基本方針】

基本方針①
図書の閲覧・貸出し等
基本的な機能の提供

基本方針②
メディアの多様化、創造・発信
など、知的活動の活発化への対応

基本方針③
様々な人の交流や連携など
の機会の提供

【目指す姿】

知を広げ 人をつなぎ 新たな価値を生み出す まちの拠点

1 多様な情報を集め、あらゆる人がアクセスできる
＜あつめる・ささえる＞

2 新しい発見に誰もが出会える
＜ひらく・みつめる＞

3 生活を豊かにする深い学びを得られる
＜まなぶ・ふかめる＞

4 様々な人や団体がつながる
＜つどう・つなげる＞

5 横浜の未来をつくる活動が生まれる
＜ためす・うみだす＞

<施設規模>

各機能を発揮し、取組を実践していくため、現段階における施設規模を約 20,000 ㎡と想定。

●施設整備の方針

1 読書環境の充実

- ・蔵書不足の解消に向け、約 100 万冊を収蔵
- ・閲覧席等の「座席」を約 1,000 席確保

2 体験、交流、創造、発信等新しい機能の整備

- ・1,000 人程度が滞在・活動できる空間を確保

3 市立図書館ネットワーク支援機能の確保

- ・書庫、物流拠点等を整備

エリア	規模の目安
図書・閲覧等の基本的機能の提供	約 6,000 ㎡
体験、交流等新しい機能の提供	約 5,000 ㎡
新図書館利用者へのサービスを支える	約 5,000 ㎡
市立図書館ネットワークを支える	約 2,000 ㎡
事務管理関連	約 2,000 ㎡
合計	約 20,000 ㎡

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

<立地>

利用者のアクセス性、物流拠点としての適性、全市的なまちづくり・市域バランスの視点から検討し、整備予定地を決定。当該地区のまちづくりと連携して推進します。

所在	港北区新横浜二丁目1番5
周辺環境	新横浜駅から徒歩1分(JR・市営地下鉄・東急・相鉄)、北口駅前広場に隣接
所有者	横浜市



「新図書館整備基本構想」(素案)の閲覧方法・配布場所

基本構想本編冊子と概要版は、ウェブページでご覧いただけます。

また、市民情報センター(横浜市庁舎3階)、各区広報相談係、横浜市立図書館で閲覧が可能です。

■横浜市教育委員会事務局教育政策推進課ウェブページ

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kosodate-kyoiku/kyoiku/plankoho/plan/libvision/basicconcept.html>



市民意見募集の概要

「新図書館整備基本構想」素案への御意見・御提案を募集します。頂いた御意見等を踏まえて、「新図書館整備基本構想」原案を策定いたします。

■市民意見募集の期間

令和7年12月17日(水)～令和8年1月19日(月)

■ご意見の提出方法

電子申請システム、電子メール、郵送またはFAXでご意見をお寄せください。

■申請フォーム、送付先

<電子申請システムからのご提出>

電子申請フォーム <https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/39516fec-e0e1-4428-ae2e-90fbf7758c44/start>



<電子メール、郵送、FAX でのご提出>

郵送：〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10 横浜市教育委員会事務局教育政策推進課あて

電子メール：ky-libvision@city.yokohama.lg.jp FAX：045-663-3118

今後のスケジュール

令和7年12月～令和8年1月 市民意見募集

令和8年3月 新図書館整備基本構想原案の策定→基本構想確定

お問合せ先

教育委員会事務局教育政策推進課担当課長 吉原 綾子 Tel 045-671-3271



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



空間計画

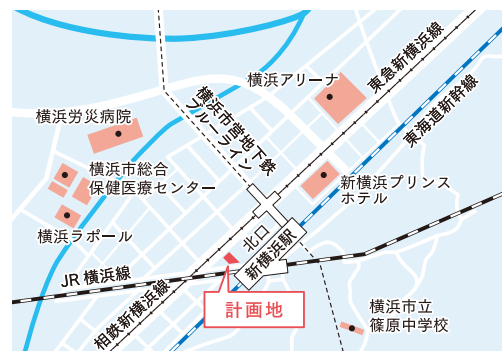
- 読書環境の充実 … 約100万冊の蔵書を収蔵。閲覧席等の「座席」を約1,000席確保。
- 体験、交流、創造、発信等新しい機能の整備 … 1,000人程度が滞在・活動できる空間を確保。
- 市立図書館ネットワーク支援機能の確保 … 書庫、物流拠点等を整備。

エリア	整備する空間・諸室（例）	想定規模
図書・閲覧等の基本的機能を提供するエリア	図書・閲覧関連スペース 例 開架図書（40万冊程度を想定）、閲覧席（約800席）等	6,000㎡程度
体験、交流、創造、発信等新しい機能を提供するエリア	多様な滞在スペース 例 オープンなラウンジ、静寂な部屋等（約200席）	5,000㎡程度
	交流・共創スペース 例 多目的ホール、ギャラリー 等	
	創造・体験・活動スペース 例 ものづくりができる空間、グループ活動ができる空間 等	
	子ども・ティーンズ関連スペース 例 遊び空間、自由な活動ができる空間 等	
新図書館利用者へのサービスを支えるエリア	共用・事務管理スペース 例 廊下・階段・トイレ 等	5,000㎡程度
市立図書館ネットワークを支えるエリア	市立図書館ネットワーク支援関連スペース 例 物流拠点、閉架書架（60万冊程度を想定）等	2,000㎡程度
事務管理関連エリア	共用・事務管理スペース 例 事務室、建物管理関連諸室 等	2,000㎡程度
合計		20,000㎡程度

立地

利用者のアクセス性、物流拠点としての適性、全市的なまちづくり・市域バランスの視点から検討し、整備予定地を決定。

所在	港北区新横浜二丁目1番5
面積	2,796.29㎡
周辺環境	<ul style="list-style-type: none"> ● 新横浜駅から徒歩1分（JR・市営地下鉄・東急・相鉄） ● 北口駅前広場に隣接
所有者	横浜市



横浜市新図書館整備基本構想（素案）＜概要版＞（令和7年12月）

横浜市教育委員会事務局 教育政策推進課
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10

電話 045-671-3243 FAX 045-663-3118

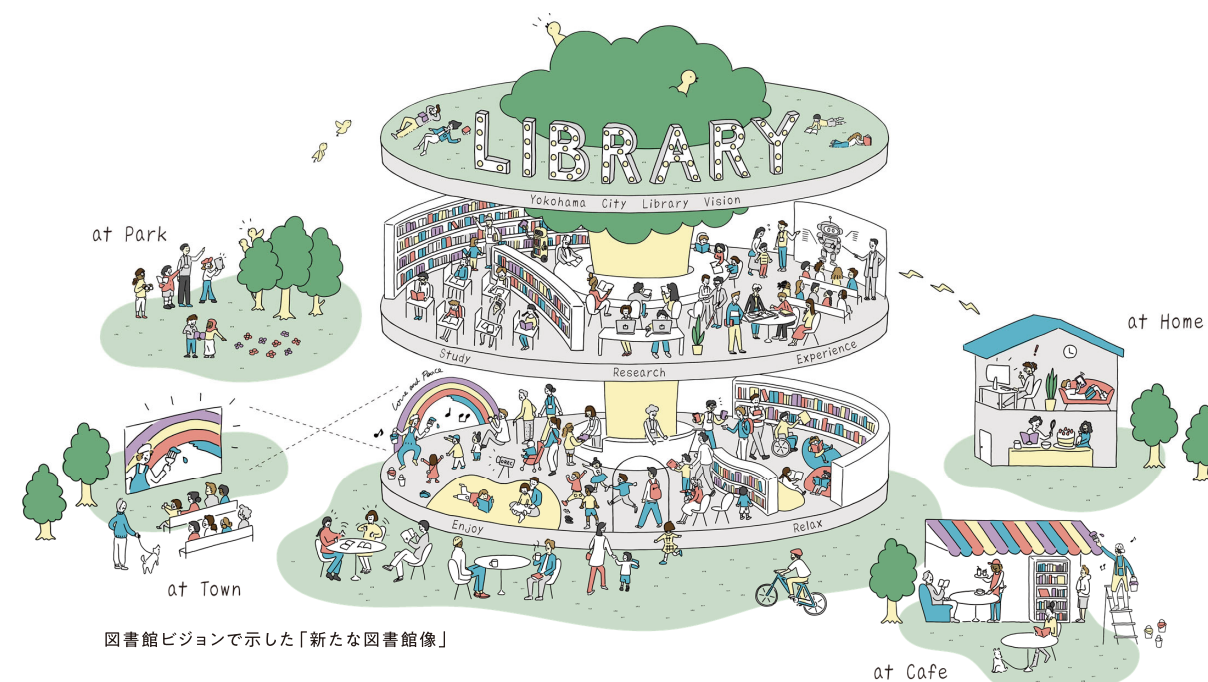
横浜市新図書館整備基本構想（素案）
の全編は横浜市ホームページで
ご覧いただけます ▶▶▶



時代・ニーズの変化と、狭あい化等市立図書館が抱える課題を抜本的に解決するため、新図書館を整備します。

横浜市新図書館整備 基本構想 （素案）

概要版



「子どもから大人まで、みんなが主役になれる場」

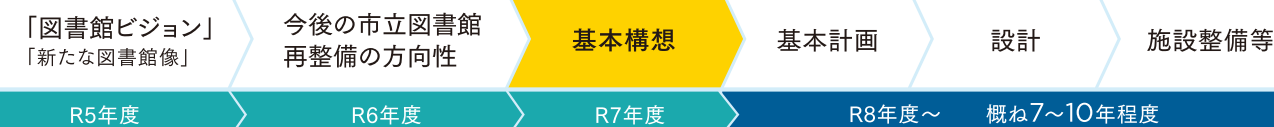
新図書館は、閲覧・貸出し等、これまでの図書館が備えていた基本的機能を強化するとともに、メディアの多様化や交流や連携の機会といった時代のニーズを踏まえた取組を進めることで、「新たな価値を生み出すまちの拠点」となることを目指します。

整備のプロセス

これからの図書館の「目指す姿」や「取組の方向性」を示す。

当面10年程度の間市の市立図書館全体の再整備等の基本的な考え方

- 地域図書館の老朽化対策
- 図書取次拠点の増設
- まちづくりと連携した再整備
- デジタル技術の積極導入
- 居心地向上を目指したリノベーション
- 新図書館の整備



基本方針

基本方針①

図書の閲覧・貸出し等
基本的な機能の提供

基本方針②

メディアの多様化、
創造・発信など、
知的活動の
活発化への対応

基本方針③

様々な人の
交流や連携などの
機会の提供

目指す姿

あつめる・
ささえる

1 多様な情報を集め、あらゆる人がアクセスできる

図書をはじめとした多様なメディアを取り扱い、充実した情報 と知識を備えます。図書館の持つ情報にいつでも／誰でも／どこからでもアクセスできる環境を整え、様々な情報や文化を保存し、次世代に継承していきます。さらに、図書等を配送する物流拠点を設ける など、市立図書館全体を支えます。

ひらく・
みつける

2 新しい発見に誰もが出会える

多くの利用者が、気軽に訪れ、情報や知識との接点を持てる 場となることを目指します。新しい発見や、知的好奇心を育む様々な工夫を取り入れ、これまで図書館を 訪れることのなかった人にも利用される場となります。

まなぶ・
ふかめる

3 生活を豊かにする深い学びを得られる

メディアの多様化を踏まえ、「読む」だけでなく、豊かな体験や 関心を深める機会を提供する場となります。知識を得るだけでなく、自分らしい学びを実践し、新しい知 識やスキルを身に付け、自己成長や自己実現につなげられる場となります。

つどう・
つながる

4 様々な人や団体がつながる

個人や専門家、企業、団体、学校など、様々な主体が持つ知識 や情報をつなぐ役割を果たします。人々のつながりのハブとなり、多様な知識や知恵が触れ合い、刺激し 合うことで、新たな学びや発想が生まれる場となります。

ためす・
うみだす

5 横浜の未来をつくる活動が生まれる

新しいアイデアを形にし、挑戦できる機会を提供し、地域の課 題解決や、まちづくりを支援します。図書館で生まれた知や活動を地域や社会に発信するとともに、多様 な主体の連携と協働による新たな価値の創造や、活動の発展を促します。

機能

情報の充実とアクセス性向上

- 図書・雑誌に加え、多様なメディアにより幅広く情報を収集します。
- 様々なプログラム等の企画、市民の皆様の活動支援を担います。
- 市民ニーズに応える約100万冊の蔵書を確保します。
- 図書館の内外を問わず快適かつ便利に情報にアクセスできる環境を整備します。
- 市立図書館ネットワークを支える物流拠点を整備します。

知的好奇心を育む

- あらゆる人が様々なスタイルで過ごせる居心地のよい場を提供します。
- 図書館を利用したことがない人も惹きつける、多様なコンテンツを提供します。
- 利用者の様々な興味・関心に応え、新しい発見を提供できるよう、多様な方法で利用者との接点を作ります。

体験を通じた学び

- 図書館に訪れることで体験できる、五感を活用した新たな学びの機会を提供します。
- それぞれの利用者にあった方法で知識や情報に触れてもらえるよう、文字情報に限らず、多様なメディアを活用し、その人ならではの知やスキルを深めることを支援します。

知的交流の創出

- 個人、学校、企業、地域団体など、多様な主体が交流し、刺激し合い、知やスキルの幅を拡げる機会を提供します。
- 自分以外の人の考えを知ったり、自らの考えを人に伝えたりできるなど、利用者同士の交流・つながりづくりを支援します。
- 多様な主体と協働しながら新たなアイデアを創出する活動を支援します。

新たな価値の創出

- アイデアや、得た知識を形にし、実際に試し、発表する場を提供します。
- 図書館で生まれた知やアイデアを、地域や社会に拡げていけるよう、大学や企業などとの接点となります。

知を拡げ 人をつなぎ 新たな価値を生み出す まちの拠点